



令和7年11月2日(日) 13:15-14:45

第5会場

<テーマ>

発掘！ New リーダー！

<ねらい>

輸血担当技師は検査業務のみならず、自施設の安全で適正な輸血療法の推進に努める重要な役割を担っています。そのために、多職種とコミュニケーションを図り、各種アプローチを実施することで信用・信頼を獲得しています。ですが、中にはアプローチの対象や方法、仕方に悩まれている方もみえると思います。今回、輸血細胞治療部門において「一歩前へ」先進的に取り組まれている施設の技師に各アプローチのご紹介をいただきます。各施設のさらなる輸血療法推進への一助となることを期待します。

司会 羽根 頼子（独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター 臨床検査科）

谷口 彰（伊勢赤十字病院 医療技術部臨床検査課）

<講演内容>

1. 血液製剤使用ガイドライン～臨床へのアプローチ～

演者：松井 杏沙佳（浅ノ川総合病院 検査部）

2. 輸血インシデントアクシデント事例～医療安全からのアプローチ～

演者：榛葉 隆人（浜松医科大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

3. 輸血教育や力量評価について～新人技師へのアプローチ～

演者：藤巻 拓也（浜松医療センター 臨床検査技術科輸血管理室）

4. 小規模施設の現状と展望～輸血担当技師目線のアプローチ～

演者：岩田 将好（JA 岐阜厚生連東濃中部医療センター東濃厚生病院 検査科）

5. 看護師教育について～看護へのアプローチ～

演者：熊谷 優（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医療技術部救急検査課）